

ウィーン国立音楽大学教授

アヴォ・クユムジャン教授 Prof. Avo Kuyumjian

## ミニコンサートと受講生レッスン



日時： 2024年 9月 22日 (日) 開演/10:30  
開場/10:20

会場：B-tech Japan Tokyo 内  
リハーサル Studio (港区虎ノ門 1-1-3 磯村ビル 1F)

聴講料：5,000円

お申込先：chieko.oh25@gmail.com (大峡)

※ 定員(25名)になり次第締め切らせていただきます。

- 10:30～ アヴォ・クユムジャン教授 ミニコンサート (曲目未定)
- 11:00～ 受講生 終了レッスン

- 山田 浩稔  
ベートーヴェン：ソナタ Op. 14-1  
リスト：小人の踊り  
モーツァルト：ソナタ Nr. 11  
バッハ：平均律第1巻 Nr. 17 より
- 石川 由梨  
バッハ：半音階的幻想曲とフーガ ニ短調  
シューマン：ソナタ Op.11、第1楽章 (演奏曲目変更の可能性あり)

《休憩》 後半 14:30～

- 伊藤 由里子  
ベートーヴェン：ソナタ No. 3 Op. 2-3
- 岡本 奈津子  
ドビュッシー：『映像』I より『運動』
- 大塚 直子  
ベートーヴェン：ソナタ Op. 53 『ワルトシュタイン』

## ■ Avo Kuyumjian (Avedis kouyoumdjian)

1959年ベイルート（レバノン）のアルメニア人の家庭に生まれる。5歳でピアノの即興演奏を始め、7歳より父 グレゴリー・ヘボヤンのもとで本格的な勉強を始める。9歳の時 オーストリア大使館の後援によるリサイタルでデビュー。ウィーン国立音楽大学、ピアノ専攻として当時最年少12才で入学。ディーター・ヴェーバー、ゲオルク・エーベルトらに師事。

1978年 ロンブロ・ステファノフ コンクール、1981年第6回国際ベートーヴェンコンクールにおいてそれぞれ第1位を受賞。又、1979年ウィーン・ダ・モッタ・コンクールに入賞。数多くのオーケストラとの協演、世界各地でのリサイタルや、ヘルブルン、ワールド・フェア、ラ・ロケ・ダンテロン国際フェスティヴァルほか主要な音楽祭への参加など意欲的な音楽活動を続けている。1988年に久保田 巧らとウィーン・ピアノ四重奏団を結成し、室内楽奏者としても活動を行っている。1990年、1991年の来日では久保田 巧とのデュオ・コンサートを、1999年にはウィーン・フィルのコンサートマスター、ライナー・キュッヒルと共演、その非常に表現力に富んだ音楽展開が絶賛された。

1997年、ウィーン国立音楽大学教授となり、2002年より同大学のヨーゼフ・ハイドン室内楽研究所のディレクターに就任。ブラームスコンクール、ハイドン室内楽コンクールの審査員も務めている。

又、2016年よりベルギーのエリザベト王妃音楽院（Chapelle Musicale Reine Elisabeth）にてマリア・ジョアン・ピリスのクラスを引継ぐ形で教鞭を取っている。

## ■ 〔通訳〕 大峽 千栄子 Chieko Ohazama

桐朋女子高等学校音楽科を経て桐朋学園大学音楽学部卒業。ピアノを安川加寿子、奥村洋子両氏に、室内楽を三善晃、岩崎淑、鶴園紫磯子各氏に師事。卒業後ウィーン国立音楽大学へ留学。同大学院修了。カルメン・グラーフ氏に師事。

---

■ 主催（お申込・お問合せ）：おおはざま ち え こ 大峽千栄子 e-mail : [chieko.oh25@gmail.com](mailto:chieko.oh25@gmail.com)

- 
- 会場についてはビーテック ジャパン B-tech Japan HP内 をご参照下さい。（会場アクセスお問い合わせ／B-tech Japan 東京 Tel : 03-6205-4005）